

令和6年2月号

市場事務所便り

社会保険労務士 市場 敬将



〒381-1221

長野市松代町東条 3116-3

電話:026-278-3555

e-mail:ima@ichiba-sr.com

FAX:026-278-3540

URL:www.ichiba-sr.com

改正施行目前！ 4月以降の労働者募集に関する注意点

◆募集時等に明示すべき労働条件が追加されます

令和6年4月より、労働契約の締結時や有期労働契約の更新時に明示すべき労働条件として、「就業場所」「業務の変更の範囲」が追加される等の改正が施行されます。既に、この改正に対応した労働条件通知書等のフォーマットが厚生労働省ホームページで示されています。

この明示すべき労働条件の追加は、求人者の申込みの際に明示しなければならない労働条件としても追加されますので、注意が必要です。

◆追加される明示事項は？

具体的には「就業場所」として、「雇入れ直後」のものと「変更の範囲」を求人広告等に記載することとなります。「業務の変更の範囲」についても同様です。

さらに、有期労働契約を締結する場合には「有期労働契約を更新する場合の基準に関する事項」（通算契約期間または更新回数の上限を含む）も明示しなければなりません。

明示事項の記載例

「変更の範囲」

業務内容	(雇入れ直後) 法人営業 (変更の範囲) 製造業務を除く当社業務全般
	(雇入れ直後) 経理 (変更の範囲) 法務の業務
就業場所	(雇入れ直後) 大阪支社 (変更の範囲) 本社および全国の支社、営業所
	(雇入れ直後) 渋谷営業所 (変更の範囲) 都内23区内の営業所

※ いわゆる在籍出向を命じることがある場合で、出向先での就業場所や業務が出向元の会社の変更の範囲を超える場合には、その旨を明示するようにしてください。

有期契約を更新する場合の基準

契約期間	期間の定めあり（2024年4月1日～2025年3月31日）
	契約の更新 有（契約期間満了時の業務量、勤務成績により判断）※ 通算契約期間は4年を上限とする。
	契約の更新 有（自動的に更新する） 契約の更新回数は3回を上限とする。

※ 「諸般の事情を総合的に考慮したうえで判断する」というような抽象的なものではなく、「勤務成績、態度により判断する」、「会社の経営状況により判断する」など、具体的に記載いただくことが望ましいです。

厚生労働省リーフレット「募集時などに明示すべき労働条件が追加されます！」より

◆「変更の範囲」はどこまで想定して書けばよい？

特に正社員の場合、契約期間が長くなるため、営業所や部署が新設される可能性などを考慮するときりがありませんが、厚生労働省のQ & Aでは「募集等の時点で具体的に想定されていないものを含める必要はありません」とされています。

◆スペースに書ききれない場合はどうする？

求人広告などの限られたスペース内に書き入れない場合は、「詳細は面談時にお伝えします」などとしておき、一部を別途のタイミングで明示することも可能です。この場合、原則、面接などで求職者と最初に接触する時点までに、すべての労働条件を明示する必要があります。

【厚生労働省「令和6年4月より、募集時等に明示すべき事項が追加されます」】

https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/koyou_roudou/koyou/haken-shoukai/r0604anteisokukaisei1.html

日本の労働生産性は OECD 過去最低の 30 位に ～日本生産性本部「労働生産性の国際比較 2023」

公益財団法人日本生産性本部は、「労働生産性の国際比較2023」を公表しました。この調査では毎年、経済協力開発機構（OECD）のデータ等をもとに、日本の労働生産性の国際的位置づけや変化の動向について分析・検証しています。労働生産性とは、労働者1人あたりまたは時間あたりの付加価値（成果）を数値化したものをいいます。

●労働生産性（1人当たり）の計算式

$$\text{労働生産性 (1人あたり)} = \frac{\text{生産量}}{\text{労働者数}}$$

●労働生産性（1時間当たり）の計算式

$$\text{労働生産性 (1時間あたり)} = \frac{\text{生産量}}{\text{労働者数} \times \text{労働時間}}$$

◆過去最低を更新

2022年の日本の1時間あたりの労働生産性は、52.3ドル（前年比0.8%増、5,099円）で、OECD加盟38カ国中30位（昨年28位）で、4年連続で順位を落とし、比較可能な1970年以降で過去最低を更新しました。1位がアイルランド（154.1ドル）、2位がノルウェー（149.9ドル）3位がルクセンブルグ（124.0ドル）と続いており、日本はポルトガル（52.6ドル）やスロバキア（51.7ドル）と同水準でした。OECD加盟国の平均は65.2ドルでした。

また、日本の労働者1人あたりの労働生産性は85,329ドルで、OECD加盟38カ国中31位でした。

	1970年	1980年	1990年	2000年	2010年	2020年	2022年
1	スイス	スイス	ルクセンブルク	ルクセンブルク	ルクセンブルク	アイルランド	アイルランド
2	ルクセンブルク	ルクセンブルク	ドイツ	ノルウェー	ノルウェー	ルクセンブルク	ノルウェー
3	米国	オランダ	オランダ	ベルギー	米国	ベルギー	ルクセンブルク
4	スウェーデン	スウェーデン	ベルギー	オランダ	アイルランド	ノルウェー	デンマーク
5	カナダ	米国	スイス	スウェーデン	ベルギー	デンマーク	ベルギー
6	オランダ	ベルギー	米国	米国	デンマーク	フランス	スイス
7	オーストラリア	ドイツ	スウェーデン	フランス	スウェーデン	オーストリア	スウェーデン
8	ベルギー	アイスランド	フランス	スイス	オランダ	スウェーデン	オーストリア
9	イタリア	カナダ	ノルウェー	ドイツ	スイス	スイス	米国
10	デンマーク	イタリア	イタリア	デンマーク	フランス	米国	アイスランド
-	日本 (19位)	日本 (20位)	日本 (20位)	日本 (21位)	日本 (20位)	日本 (27位)	日本 (30位)

日本生産性本部「労働生産性の国際比較 2023」より

◆コロナ禍からの経済回復の遅れも

本調査では、コロナ禍以降の労働生産性の変化（2020年4～6月期以降の動向）についても分析しました。1人あたりの労働生産性をコロナ前（2019年）の水準と比較すると、コロナ前を上回る国は38カ国中28カ国で、日本（2019年対比99.6%）やフランス（同96.5%）などは回復が遅れていると分析しています。一方、米国（同104.5%）やイタリア（同103.4%）、英国（同101.8%）ではコロナ前水準を上回っています。最も改善しているのは、2019年対比で122.5%と2割以上も上昇しているアイルランドでした。

日本は2020年4～6月期以降の労働生産性の上昇率は小幅であるものの、2021年4～6月期から回復傾向が続いていますが、2023年になると上昇幅が少しずつ縮小してきています。

【日本生産性本部「労働生産性の国際比較2023」】

<https://www.jpc-net.jp/research/list/comparison.html>

□□□今月のことば □□□



疑問を抱くことの重要性

今学校では定年退職者の増加により 20 歳台の若い教師が増えている。私が危惧するのは、この世代の教師たちにとっても「素直な」人たちが多いことだ。きまりを守る。上の言うことはよく聞く。偉い人の言うことは信じる。教科書に書いてあることは全て正しいと考える。

教育は自由な人間を育てることだ。自由な人間とは自分で考える人間だ。自分で考える人間はあらゆる権威を疑う。考えることは疑うことなのである。疑問や疑念を抱くことから、思考が始まる。人間は、答を求めて考えるから学ぼうとする。本当の学習は疑問から始まるのだ。

自由な人間を育てる教師は、自分自身が自由な人間でなければならない。自分で考えない教師は、自分で考える子どもを育てることができない。学校は自由が溢れる場でなければならない。

『権力は腐敗する』 著 前川 喜平

❀❀❀事務所よりひとこと❀❀❀



今年は地震や事件が立て続けに起き、不穏な年の始まりでした。

能登半島地震から既に 1 カ月が経った現在も復興が歯がゆいほど進んでいない状況を見るにつけ、東日本大震災やその後の幾つかの大きな地震の経験が何一つ生かされていないことが分かります。

それは喉元過ぎれば熱さを忘れる日本人特有の能力のせいでしょうか？

昨年あれだけ大騒ぎになったジャニーズ事務所問題も紅白歌合戦に出場させないことで禊が済んだかのようにふと気付くと所属タレントがテレビにあふれかえています。

少し前なら統一教会の件、もう少し前なら森友・加計問題、その前は福島原発、等々……

何一つ解決されぬまま、報道されなくなった途端、何事もなかったかのように忘れ去られているのが現状です。今話題の性加害問題もマスコミが報じなくなった途端、あっという間に忘れ去られてしまうことでしょう。

「辛いことなど早く忘れて明日に向かって生きていく」ことはとても大事です。

それでも「これだけは絶対」というものは自分の中の「教訓箱」に入れ、時が経っても時々開けて執念深く蒸し返したい。そうしないといつまでも力の有る者に舐められ、今度は自分が当事者（被害者）になってしまうかもしれない。昨日の夕飯と同じレベルで忘れていない場合ではないのです。

今年は気を引き締めていこうと思います。(池亀)